

かつ

# 甲

令和6年度  
秋季特別展

# 冑

ちゅう



— 古墳時代の武威と技術 —

# 10.5 ± 2024 12.1日

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 / 共催 公益財団法人 由良大和古代文化研究協会 / 後援 読売新聞社、NHK奈良放送局、奈良テレビ放送株式会社

●〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町 50-2 ●TEL(0744)24-1185  
●FAX(0744)24-1355 ●URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館  
THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA



# 甲冑

令和6年度  
秋季特別展

## 古墳時代の武威と技術

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
共催 公益財団法人由良大和古代文化研究協会  
後援 読売新聞社、NHK奈良放送局、奈良テレビ放送株式会社

国家形成期にあたる古墳時代には、ヤマト王権により列島各地の政治的な統合が進められます。「昔より祖禰射ら甲冑を撰ぎ、山川を跋涉して寧処に違あらず。」と『宋書』倭国伝に記された倭王武の上表文は、誇張があるにせよ、統合に軍事が重要な役割を果たしたことを示します。こうしたなか、鉄製の武器・武具は飛躍的な発展を遂げていきます。甲冑はその代表例です。

人体に合わせるため複雑な立体構造をもつ甲冑の製作には渡来技術を含む高度な技術が要求され、大量の鉄素材も必要とすることから、その生産はヤマト王権の下、一元的におこなわれたと考えられてきました。

甲冑は戦闘の道具ですが、同時に、それを所持する、また墓に副葬された人物の社会階層を示す威信財的な側面をも有しています。

本展覧会では、古墳時代の甲冑について、大和の出土品とともに、各地の良好な出土例を多数展示し、その変遷を通観するとともに、これを巡る様々な問題に迫ります。

表写真・[上]く[中下段]短甲・[下段]衝角付冑(両端)・肩庇付冑

[上段]後出3号墳(第1主体)・後出7号墳(後出2号墳)

[中上段]新沢千塚13号墳、塚山古墳

[中下段]兵家12号墳、高山1号墳(右2領)

[下段]新沢千塚281号墳、新沢千塚139号墳、兵家12号墳、今井1号墳

### 研究講座 申込不要 聴講無料 定員 250名

会場：奈良県立橿原考古学研究所 講堂  
時間：13:00～16:30(12:00開場)

#### 第1回 10月20日(日)

吉村 和昭(当館学芸課長)  
「展覧会の趣旨説明」

樋上 昇氏

((公財)愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター 調査課長)  
「もうひとつの甲の系譜 一木製甲の世界」

川畑 純氏

((独)国立文化財機構 奈良文化財研究所 主任研究員)  
「前期の甲冑 その源流をアジアに辿る」

#### 第2回 11月10日(日)

吉村 和昭(当館学芸課長)  
「中期の甲冑 製作と生産組織の実態を探る」

辻田 淳一郎氏(九州大学大学院人文科学研究院 教授)  
「古墳時代の器物の授受とその背景」

#### 第3回 11月24日(日)

吉村 和昭(当館学芸課長)  
「藤ノ木古墳出土挂甲の概要」

徳江 秀夫氏(群馬県立歴史博物館 専門調査官)  
「綿貫観音山古墳の甲冑と上毛野の古墳」

小林 謙一氏

((独)国立文化財機構 奈良文化財研究所 客員研究員)  
「飛鳥寺塔心礎出土の挂甲」

背景：鉄三角板革綴衝角付冑・短甲・装具(復原) (関西大学博物館蔵)

### 関連講演会 定員 600名

会場：大阪市住吉区民センター  
日時：10月13日(日) 13:00～(12:00開場)

橿原考古学研究所友協会  
第8回大阪講演会

秋季特別展「甲冑 古墳時代の武威と技術」

諫早 直人氏(京都府立大学文学部 准教授)

「馬具と甲冑—古代東アジアの騎馬武人」

村上 恭通氏

(愛媛大学アジア古代産業考古学センター センター長・教授)

「弥生・古墳時代の鉄器生産と  
その東アジア的系譜」

### 列品解説 申込不要 聴講無料

会場：当館 特別展示室・瑞山ホール  
(ただし入館料が必要です)

日時：10月19日(土)  
11月2日(土)  
11月16日(土)  
各日 ①10:30～11:30  
②14:30～15:30

### 次回展覧会案内

特別陳列  
「ミステリー小説のなか  
に考古学が登場する件」  
2024年12月14日(土)  
～2025年1月19日(日)

特別陳列  
「東南アジアの洞窟遺跡」  
2024年12月14日(土)  
～2025年3月16日(日)



国宝 突起付冑  
群馬県・綿貫観音山古墳  
(文化庁蔵・群馬県立歴史博物館保管)

金銅装蒙古鉢形  
小札鉄留肩庇付冑  
奈良県・五條猫塚古墳  
(奈良国立博物館蔵)

横矧板鉄留短甲  
静岡県・石ノ形古墳  
(袋井市歴史文化館蔵)

堅矧板革綴短甲  
山梨県・大丸山古墳  
(東京国立博物館蔵)

(Image:TNM Image Archives)

三角板鉄留襟付短甲  
大阪府・黒姫山古墳  
(堺市蔵)

観覧料金	大人	高校・大学生	小・中学生	【無料となる場合】 ・小学生未満 ・身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳の所持者および付き添い1名 ・奈良県内の小・中・高・特別支援学校生が、通学校の教員の引率で入館する場合の生徒および教員 それぞれ証明するものをご提示下さい
個人	900円	450円	300円	
20名以上の団体	500円	350円	250円	

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館 THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE  
〒634-0065 奈良県橿原市欽陵町50-2 TEL(0744)24-1185 FAX(0744)24-1355 URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>

■ 休館日：月曜日・ただし会期中の祝日は開館 ■ 開館時間：午前9時から午後5時まで(ただし、入館は午後4時30分まで) \*関西文化の日につき11月16日(土)・17日(日)は無料。  
■ 最寄り駅：[近鉄橿原線] 畝傍御陵前駅 Unebighoryomae sta. B41 下車・西出口から西へ徒歩約5分/[近鉄南大阪線] 橿原神宮前駅 Kashiharajingu-mae sta. F42・B42 下車・中央出口から北へ徒歩約15分]

### 連携展覧会

兵庫県立考古博物館  
Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

2024年 9月14日(土) ~ 11月24日(日)  
秋季特別展 よろい かぶと  
「うつりゆく甲と冑—弥生から江戸へ—」  
開館時間：9:00～17:00(有料ゾーンへの入場は16:30まで) 休館日：月曜日(祝休日の場合は翌平日)

この連携展覧会の半券・観覧証明をお持ちの方は団体料金にてご覧いただけます